中川だより

名古屋市立中川小学校
５月号
令和５年５月２日
https://www.nagoya-c.ed.jp/school/nakagawa-e/

「協力」

爽やかな風薫る５月を迎えます。今月２７日は、運動会です。まもなく子どもたちは運動会に向けて練習を開始します。子どもの頑張る姿をぜひ多くの方々にご参観いただきたいと思っています。

さて、「協力」という言葉は普段の生活で頻繁に使われます。特に、集団生活を送っている学校では欠かすことのできない言葉です。改めて意味を調べると、「心を合わせて物事をすること（広辞苑より）」と、なっています。

- 「協力して＝心を合わせて」掃除などの当番活動をする。
- 「協力して＝心を合わせて」グループでの発表を行う。
- 「協力して＝心を合わせて」学芸会の劇を作り上げた。
- 「協力して＝心を合わせて」運動会の綱引きで勝つことができた。

一人の力だけではできないことが、複数の人がかかわることでできるようになった時に「協力」という言葉を用います。以前ある人が「人間は弱い存在です。しかし、生きていく知恵を共有してきたので、様々な困難を乗り越えてきました。人間がこれだけ発達してきたのは、協力をしてきたからです」と言っていました。

学校からは保護者や地域の皆様には協力のお願いばかりで心苦しいですが、私自身は、人として、自分の周りの人と「心を合わせて」物事に取り組むことをこれからも第一に考えていきたいと思います。

「笑顔いっぱい　夢いっぱい　仲間とともに　輝く明日へ！」

子どもたちのために、ともに心を合わせていただけると幸いです。よろしくお願いします。

中川小学校長　武藤　敦

たったの５つ？

本校は令和になって、学校のきまりを見直しました。たくさんのきまりがあっても、全部覚えられませんし、なによりも、気持ちよく生活するための行動を、子どもたち自身で考えてほしいと思うからです。３０項目近くあったきまりを「中川っ子５つのきまり」にまとめています。この５つは、大人になってからも大切にしたいことばかりです。

中川っ子　５つのきまり

①友達がよろこぶことをしよう
②自分がされていやなことはしない
③自分と友達を大切にしよう
④時計を見て動こう
⑤かっこいい　中川っ子になろう

「ワークスペースや教室で走らない」「大型商業施設には子どもだけで行かない」は、「③自分と友達を大切にする」ためです。「トイレのスリッパをそろえる」のは「①友達がよろこぶことをしよう」「②自分がされていやなことはしない」に当てはまります。「きまりに書いてあるから」ではなく、「何のためにこのきまりがあるのか」を考え、学校生活をよりよくするために、考えて行動してほしい思います。

なお、「持ち物の確認」を載せました。子どもたちが学習に集できるよう、ご家庭でお子さまの持ち物の確認をお願いします

持ち物の確認

〈 筆箱の中身 〉・・・ご家庭で**定期的に**中身をご確認ください。

・ しっかりした筆圧で文字を書く練習を行うため、ノック式鉛筆（シャープペンシル）は全学年使用しないこととします。（校外学習等、学年で必要なときは連絡します。）

・ **鉛筆は、毎日ご家庭で削らせて**ください。

・ 消しゴムは、デザインよりも、よく消えるかどうかの基準で持たせてください。
（ねり消し、におい付き等は、学習時の集中力の妨げになるので避けてください。）

・ カラーペンについては、学年ごとにお伝えします。基本は赤鉛筆があれば十分です。

〈 体育時の服装 〉

・ 体育時の下着を着用してかまいませんが、汗をかきますので、**体育の授業がある日は、替えの下着を持たせて**ください。なお、スパッツやレギンス、長袖のシャツ等は、暑くなった時に途中で脱ぐことができず、体温調節がしにくいため、おやめください。

〈 その他 〉

・ 基本的には「**学習に必要かどうか**」でご判断ください。かばんに付けるキーホルダー等についても同様の基準でお子さまとご確認ください。

・ **下敷き**を持たせてください。

・ 子ども同士の交換ノートは、トラブルを避けるため、校内での交換はしません。

・ 水筒をはじめ、記名のないものがあります。**必ず名前を**書いてください。

運動会に向けて①～熱中症対策と準備するもの～

・ 汗拭きタオルや替えの下着を持たせてください。

・ 水筒のお茶を多めに入れてください。水筒を2本持たせていただいてもかまいません。

・ 早寝早起き、朝食をきちんと食べるなど、体調管理をお願いします。

運動会に向けて②～全校競技について～

中川小学校の運動会のねらいは二つあります。一つは、みんなが楽しく力いっぱい運動すること、もう一つは、仲間意識を育むことです。この二つのねらいを基に、改めてこれまでの競技を見直しました。その結果、一部の子どもが活躍し、それ以外の子どもは応援する紅白対抗リレーを見直し、全員が楽しく参加できる全校競技（大玉送り）を行うことにしました。赤白それぞれが一つになり、大玉を送る様子をぜひご覧ください。